

## 普及活動情勢報告（令和6年1月分）

幡多農業振興センター農業改良普及課

### 剪定で収量・品質アップ！

### ～大月ふれあい市出品者協議会剪定講習会～



12月15日、大月町太駄場地区の生産者ほ場3カ所で大月ふれあい市出品者協議会剪定講習会が開催され、生産者12名、関係者1名が参加しました。

農業改良普及課からは、カキ、ブドウ、ナシの結果習性や主枝・亜主枝の整枝法、短梢剪定、長果枝剪定、短果枝剪定など品目に応じた剪定指導を行いました。生産者からは「結果母枝と結果枝の違いがわかった」、「間引き剪定と切り返し剪定の使い分けは?」、「予備枝の確保や捻枝による誘引方法を実践したい」といった声がありました。

今後も、個別指導や現地巡回指導を実施し、果樹の安定生産に向けて取り組んでいきます。

### 将来、農業をしませんか？

### ～幡多農業高校職業分野別説明会～



12月18日、幡多農業高校1・2年生を対象に職業分野別説明会が開催され、生徒20名が参加しました。

農業改良普及課からは、幡多地域での就農及び普及指導員の仕事について説明しました。参加した生徒からは、「今回の話を聞いて、将来の幅が広がった」、「普及指導員以外にも農業を支える仕事があるのか調べていきたい」といった声がありました。

今後も、若い世代に対して農業のPRを行い、新規就農者の確保に向けて取り組んでいきます。

### 資材費の低コスト化のヒント！

### ～JA西土佐支所柚子部会総会～



12月18日、JA西土佐支所でJA西土佐支所柚子部会の総会が開催され、生産者42名、関係機関8名が参加しました。

農業改良普及課からは、資材が高騰している中、耕種的防除の組み合わせや、園地の立地条件に合わせた施肥による農薬・肥料費削減について情報提供しました。今年の総会は例年より多くの参加があり、栽培意欲の高まりを感じました。

今後も、ユズの生産振興につながる情報を提供し、部会活動を支援していきます。

## 県内の担い手確保対策を共有しよう！ ～新規就農者支援ネットワーク協議会を開催～



12月19日、幡多農業振興センターで新規就農者支援ネットワーク協議会を開催し、幡多地域6市町村の新規就農支援担当者、JA、普及課職員計29名が参加して、担い手の確保等について協議しました。

各市町村、JA、農業改良普及課から県内外の就農相談会やイベントでの就農促進の取り組みの事例紹介を行い、今後の担い手確保に向けた取組を検討することが出来ました。

農業改良普及課では、今後も担い手確保に向けて取り組んでいきます。

## 他のみんなはどうしゅう！？

## ～若手キュウリ農家現地検討会～



12月20日、黒潮町浮鞭の生産者ほ場で若手キュウリ農家現地検討会が開催され、若手生産者12名、関係機関5名が参加しました。

会では、ほ場主から栽培概況や栽培における管理ポイント等について説明を受け、その後意見交換を行いました。農業改良普及課からは、天候による光合成速度を示す指標についての説明を行い、生産者からは「これからは日射量についても考えながら栽培せないかん」と積極的な意見が聞かれました。

今後も、現地検討会を定期的で開催し、生産者同士が意見交換できる場を提供していきます。

## いちごの出荷に向けて！

## ～JA中村支所いちご部会目慣らし会～



12月22日、四万十市中村の中村選果場でJA中村支所いちご部会目慣らし会が開催され、生産者4名、関係機関5名が参加しました。

農業改良普及課からは、厳寒期の栽培管理、SAWACHIのグループ化について説明し、箱折りの作業委託について情報提供しました。生産者からは、「グループ化すると比較しやすく良い」、「同意してもかまわない」との意見がありました。

農業改良普及課は、今後もSAWACHIのグループ化を促進し、生産者が栽培管理で活用できるように支援していきます。